

村制百二十周年記念
第十一回
しもじょつ子まつり

七月の最終土曜日に毎年恒例となりました夏祭り、「しもじょつ子まつり」が開催されました。

今年は例年より早く梅雨明け宣言が発表されたにも関わらず、お祭り直前まではつきりしない天気が続いていました。当日も曇っており、ここ数年続いている猛暑の中での開催に比べ、随分と落ち着いた陽気の中でお祭りが始まりました。お待ちかねの特設ステージでは、この日を目指して



練習を積み重ねた九つの団体が発表を行いました。



まずはコスモキッズのダンスからです。鮮やかな衣装の面々がステージ下の広場で元気でかわいいダンスを披露してくれました。

アップルけん玉クラブは、高難易度の派手な空中技を交えながら会場を沸かせてくれました。初登場のちびっこバンドは寸劇を交えて演奏してくれました。途中から豪雨に見舞われましたが、雨雲を吹き飛ばさんばかりの歌声を張り上げ頑張ってくれました。

ポクシングサークルの発表では、空手との異種格闘技のスパリーング等なかなか見られないものも見られました。武道空手少年クラブでは板割りやバット割りなどを平気でやって退け、身心の鍛錬を見せました。この頃には雨も治まりましたが地面は泥だらけです。下條少年剣道クラブも足元の悪い中、せつかく練習したのでどうしてもやり遂げた意気込みで、少年剣士達が熱い思いを魅せてくれました。続いての商工会大抽選会は下條村制百二十周年記念ということで行われ、しもじょう商品券を購入された方に更に抽選で商品券を配りました。当選された方はニコニコ顔でステージへ飛んできていました。子ども達も待ち侘びたカッセイカマシショーではおもしろかつ



こよくフキョーダを蹴散らし、子ども達には負けていけないと、おやじの会のバンドで特設ステージは最高潮の盛り上がりで幕を閉じました。



薄暗くなり始めた頃、御神輿が出ました。大人神輿と子ども神輿で五体もの御神輿でさおおい、最後には会場全体で万歳をし、今後の発展を誓いました。

今年で二回目となりますキャンドルイルミネーションは、村制百二十周年記念に因み、百二十の文字を炎で象り演出しました。参加者の想いを乗せた約八百ものキャンドルが夕闇に際立ち会場を幻想的に彩りました。写真を撮る人達の姿も絶えず見られました。



きる賑わいを見せました。夏祭りの夜と言えば風物詩の花火大会です。今年是不景気にも関わらずたくさん寄付金を頂戴し、過去最多の打上本数となりました。最後は村制百二十周年を記念した大スターマイン、一斉打ちでお祭りを締めくくりました。



下條村は今年で村制百二十周年を迎え、しもじょつ子まつりも第十一回となり二桁に乗りました。今後子ども達の元気で村全体を盛り上げるとともに、思い出に残る夏祭りにしていきたいと思います。